

みんなの自治講座 「10代20代からの提言」

大塚愛県議とともに、「みんなの自治講座」「10代20代からの提言」の進行をしました(7.16)。グループワークも交えながら、市政の課題が浮き彫りになりました。

◇1◇ 子どもたちに「自由」に生きるための力を育む

発表は、「フリースクールもえぎ」の有澤可菜さん。
・不登校=問題ではない。
・「欲求」と向き合う“よい”時間。
・選んだ選択肢を尊重してもらえること。
・“出口の平等”を担保する仕組みや手段が必要。
・制度だけでなく、「自由」に生きるための力を育むこと。
/不登校の子どもたちに真摯に向き合う様子が伝わってきました。



◇2◇ 私の診察室からみえるもの～少女の性から～

発表は、広島市“(医)河野産婦人科クリニック”の河野美代子(産婦人科医)さん。気候変動について発表予定の若者の都合で、河野さんが急遽、引き受けてくださいました。診察室に来る10代少女の性～社会人男性の性～特別養子縁組とその現実の姿と、体や性を教えることの必要性を伝えてくださいました。



2つの発表の間に、Cocoちゃんの手話講座。「小さな世界」の歌に合わせて、楽しかったです。

こんなスポット/千足古墳、備中高松城址資料館

*古墳時代を代表する装飾文様直弧文が刻まれた「千足古墳」。4.30に、石室内部が見学できるようになりました。直弧文が刻まれた石障実物は岡山市埋蔵文化財センターに所蔵されています。



*「備中高松城址資料館」は、6.4リニューアルオープンしました。大型パネルを新設するなど展示内容が刷新されています。備中高松城址資料館：086-287-5554。



編集後記 ★7月に議会運営について、千葉・川崎・横浜市議会に視察に行きました。飲み物はアルミ缶か紙パックでした。ペットボトル(プラスチック)削減に動いてますね。



のぞみ日誌から

自転車マナー向上協働行動 (5.15)

岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会「地域の絆プロジェクト」企画委員会主催で、岡大入口交差点で実施。とにかく自転車の量が多く、自転車ルールについてチラシ配布です。岡山大学の学生・職員、伊島・津島・御野学区の地域の皆さん、警察官などの協働行動です。



岡山きずなボランティア連続講座 (6.25)

第2回目。テーマは、「メンタルヘルスの課題を抱えた方への理解と援助」で、講師は、岡崎翼さん(岡山県精神保健福祉センター)。メンタルヘルスの課題の特徴のために生活困窮に陥り、その特徴のために支援を受けられない方が、ある程度いるかもしれない。基礎知識や向き合う姿勢など、学び多い講座でした。



岡山市戦没者追悼式 (6.29)

6.29は「岡山空襲の日」。4年ぶりに「岡山市戦没者追悼式」が岡山市民会館で行われ、参列しました。岡山市民にとっては「岡山市平和の日」として、平和への想いを誓う日です。

市場町内会のいきいきびりサロン (7.1)

この日は、七夕祭りでした。桃太郎体操のあと、京山公民館の方から、七夕にまつわる紙芝居とお話がありました。そして、七夕飾りを作ったり、短冊に願いごとを書いたり。私が短冊に書いたのは、「みんな、らんまん」です。その間に、七夕料理が手作りされていました。ゆっくりお話ができて楽しかったです。



おにきさんとティータイム@奉還町4丁目ラウンジ・カド (7.7)

市政報告会ではなく、みんなでおしゃべりをする時間。とても楽しく居心地よく、あっという間に時間が過ぎ、また一歩、分かりあえた感じがありました。そんななか、市政への課題が散りばめられていて、より豊かな暮らしへのヒントもありました。時々、行う予定です。



岡山市議会議員

会派：みらいえ

No.65

2023年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2023年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



女性議員をさらに。多様な声の反映を 男女平等指数 2023：日本は世界146カ国中125位

* 岡山県市議会議員女性の会 *

「第10回岡山県市議会議員女性の会」が2023年7月7日に真庭市で行われました。

現在、県内の女性市議会議員は48人とまだまだ少ない(14.4%)のようですが、県内15市議会のすべてに女性議員がいます(1人が4市議会)。

2014年に設立をしたときは、5市議会に女性議長がいました。全国的にも注目をされるなかで、この会が誕生しました。当時、女性議員は34人でしたので、徐々に増えてはいます。以来、各自治体持ち回りで年に一度開催され、女性議員ならではの想いや学びを共有し、励まされてきた会です。

岡山市では2020年に行い、「パートナーシップ宣誓制度導入にあたって」という研修もしました。この研修を契機に、性的マイノリティ施策が進んだ自治体もあります。



太田昇・真庭市長、小田康文議長を囲んで。会場は、オシャレにリニューアルオープンしたばかりの「真庭あぐりガーデン」でした。「地域資源を活用した脱炭素への取り組み」について、先進的な学びを得ました。

男女平等指数 2023。146カ国中、日本は125位で過去最低。政治分野は138位です。これでは多様な声の反映ができません。

* 男性の育児休業取得率アップを *

6月議会、私は会派「みらいえ」の代表質問をしました。男女平等施策については、これからも最優先のテーマとして取り組みます。

その一つ。男性の育児休業取得について取りあげました。国は育児・介護休業法を改正し、2022年4月から段階的に施行しています。

岡山市役所自身は、育児休業取得率の伸びが近年目覚ましく、2013年度1.1%から、2022年度時点で56.7%に。2025年度目標値50%をすでに達成し、新たな目標値設定について、取得期間も合わせて質しました(中面参照)。民間事業所の取得率はさらに低いです。これからも一歩一歩がんばります。

おにき・のぞみ



6月議会 代表質問から

- 今回とりあげた項目
1. 統一地方選挙を通して
 2. 男性の育児休業取得、ファミリーサポート事業
 3. ESD・SDGs 実現にむけて
 4. ゼロカーボンシティ宣言実現にむけて
 5. 歩いて楽しいまち
 6. 用水路からの転落防止、自転車のヘルメット
 7. 地産地消・オーガニック給食と有機農業推進
 8. イノシシと棲み分けるまち
 9. 小さな命・人権を守るまち ～児童虐待防止～
 10. 岡山市立夜間中学
 11. 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業
 12. マイナンバーカード

改選後はじめての議会となった6月議会では、12人の新人議員全員が質問を行いました。ご自身の経験や、出会った皆さま、地域の想いを受けての、新鮮で誠実で的確な質問が続きました。全体として多かったのは、ご高齢の方々など、いわゆる交通弱者の皆さん方の移動の権利の保障についての質問です。高齢社会が進むなかで、ますます検討が必要な課題です。

議会のあり方が大きく変わる

本会議・委員会において質問時間などへの制約が行われました

私は今、「みらいえ」という5人会派（正会派）で議会活動をしています。

▼この6月議会から、議会運営のあり方が次のように大きく変わりました。議会運営委員会において、「みらいえ」だけが反対しましたが、可決されました（共産党も反対意見。準会派なので議決権がありません）。

*本会議：これまであった20分の個人質問が、一括質問方式で15分、一問一答方式で10分にまで減らされました（2月議会のみ、一括質問は20分、一問一答は15分）。会派ごとに行う代表質問は、一人あたり8分間となり、7人以下の会派の代表質問時間は減りました。本会議は公開の場で、市長と議論ができる貴重な機会です。



*常任委員会：議案審査の場合、事前の発言通告制となり、質疑時間が一人1日20分までとなりました。関連質疑はできますが、そもそも通告がないと、気になる報告があっても質問ができません。時間を気にしながらの発言はとても窮屈です。

私たち議員は、市政のあり方をチェックするとともに、市民の声を反映する役割があります。これでは十分な議論ができにくくなります。

▼今年度から設置される、予算・決算特別委員会

予算・決算特別委員会の委員長・副委員長の選出について、委員会における従来の互選から、「議長の指名」に変更する条例改正案にも「みらいえ」は反対しましたが、可決されました。機会は公平にあるべきです。

* * *

9月議会の決算特別委員会は新しい形となります。皆さん、本会議と委員会の傍聴にきて、どういうあり方が相応しいか。ご意見をいただきたいです。

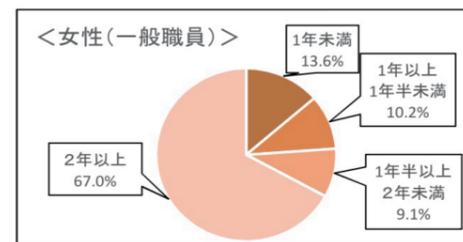
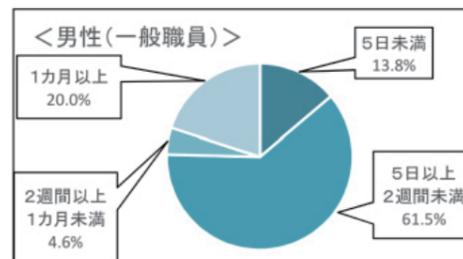
2 男性の育児休業取得率

岡山市役所。2025年度50%の目標クリア。さらに高く設定して進める

Q 2022年度の男性育休取得者の取得期間。7割以上が2週間未満で、1ヵ月以上は20%に過ぎません。岡山市では、男性が1ヵ月を越える育休取得の際に、今年度から所属先に補充する代替正規職員2名を配置しました。その効果は。今後の新たな目標設定や取り組みは（1面より）。

市長 国は公務員の男性育休取得目標を、2025年度までに1週間以上の取得率を85%と示した。隗より始めよの精神で、年内に我々の目標を示す。

総務局長 配置した代替要員には、育休を取得しやすい雰囲気が進むことへの手ごたえを感じている。他の取り組みとも合わせてさらに促進したい。



岡山市役所一般職員育児休暇取得期間（岡山市HPより）



*用水路事故防止の岡山市啓発チラシ（岡山市HPより）

9 児童虐待防止

DV関係機関の意見を反映させた共通アセスメントシート活用へ

Q 2022年1月の市内の子どもの児童虐待死に対して、10月に出示された検証報告を受けての強化策をお示してください。

岡山っこ育成局長 人事面では、こども総合相談所（こ相）には、児童福祉司2名の増員配置で個別のケースを持たないスーパーバイザーを生み出し、組織的対応を強化。現職警察官1名を配置し、県警との連携を強化した。地域こども相談センター（地こ相）でも、保健師を1名増員、2名の事務職を児童福祉司・精神保健福祉士へ置換、事務1名を非正規から正規配置に（数字は資料から補充）。

事業面では、支援方針に弁護士の法的助言を取り入れる事業、一時保護児童に弁護士が意見聴取を行う子どもの権利擁護推進事業、外部機関によるこ相及び一時保護所の第三者評価事業を実施する。

Q DVの視点では、どうでしょうか。
岡山っこ育成局長 こ相と地こ相が、DV関係機関の意見を反映させた共通アセスメントシートを活用することで、DV視点で虐待判断ができる仕組みを作った。秋以降、岡山市児童虐待防止専門職員研修などで、DVと児童虐待を一つながりのものと捉える研修を行う。

人事面、事業面とも更なる推進を。

「オーガニック給食」についての意見交換会に参加

5月10日に行われた、市民の皆さん（「たねをまもる会おかやま」「グリーンコープ生協おかやま」と岡山市担当課との意見交換会に参加をしました。

3月に「岡山県みどりの食料システム戦略基本計画」などを岡山市も共同して策定。岡山市は有機農業生産者やJAへのヒアリングをするなど、まず具体的な把握を始めています。議会質問も行いましたが、一歩ずつ前を進むようにと考えます



10 岡山市夜間中学

岡山市立夜間中学【相談窓口】
086-803-1588

*夜間中学に関して、ご相談があればお電話ください。

Q 岡山市ホームページには、相談窓口が明確にはありません。「夜間中学を勧めたい人がいるがどこに連絡したら」、「自分でも理解できる内容だろうか」などの声を聞きます。相談窓口をもち、誠実に向き合うことが必要ではないでしょうか。

教育長 皆さんに安心して通っていただけるよう、ホームページやチラシに明記するなど、努力をしていく。

12 マイナンバーカード

Q マイナンバーカードの相次ぐトラブルは正視できません。とくに健康保険証をめぐる動きは、市民の皆さんに不安を与えています。市長には、市民生活を守ることを行政の基本に据え、市民に不安を与えないでほしいと国に毅然と発言・発信していただきたい。

市長：安全かつ安定的な制度運用を国に求めていきたい。

国は新カードを2026年にも発行する方針。拙速を廃し、立ち止まって考えるときです。私は個人情報保護の観点から、マイナンバーカードには賛同できません。